

奈良県における取り組み

- ・ 奈良県では、平成27年7月に策定した「奈良県林業・木材産業振興プラン」に基づき、平成32年度の木材生産目標を設定し、その達成に向け、高級材からA・B・C材の全てを搬出して多用途に供給する林業への転換を推進している。
- ・ そのため、本県では、川上から川下までを幅広く支援し、地域材の利用を拡大させるために、森林整備加速化・林業再生事業を活用してきた。
- ・ また、本県で初めて木質バイオマス発電所が建設されるにあたり、平成26年度にこの事業により融資を行った。
- ・ より一層の地域材利用を推進するためには、貸付の償還金（平成28年度～平成42年度 総額 14億円）を原資として、林業、林産業に対し、今後も積極的な支援を行う必要がある。

活用事例

- ①木質バイオマス利用施設等整備
- ②木造公共施設等整備
- ③CLT等新製品・新技術の実証・展示加速化対策
- ④木材加工流通施設等整備
- ⑤高性能林業機械等の導入 等

国にお願いすること

森林整備加速化・林業再生基金を活用した木質バイオマス発電施設建設に対する貸付の償還金について、下記2点を要望する。

- ・償還金を原資として、事業の継続実施
- ・木質バイオマス関連事業のみならず、川上から川下までの幅広い事業への活用



木質バイオマス発電施設



川上～川下の様々な取組を支援